

News Release

2019年3月19日
N I T E (ナイト)
独立行政法人製品評価技術基盤機構
北海道支所

春本番、自転車の思わぬ事故に注意！ ～安全のために知っておきたいポイント～

1. 事故の発生状況

北海道では、自転車の事故は、2013年度から2017年度までの5年間に合計7件ありました。

(1) 年度別事故発生件数

年度別事故発生件数を表1に示します。

表1 年度別事故発生件数（2013～2017年度）

発生年度	合計
2013年度	2
2014年度	2
2015年度	2
2016年度	0
2017年度	1
合 計	7

(2) 被害状況別事故発生件数

被害状況別事故発生件数を表2に示します。

表2 被害状況別事故発生件数（2013～2017年度）※1

被害状況		合計
人的被害	死亡	0
	重傷	2
	軽傷	4
物的被害	拡大被害	0
	製品破損	0
被害なし		1
合 計		7

(※1) 人的被害と物的被害が同時に発生している場合は、人的被害の最も重篤な分類でカウントし、物的被害には重複カウントしない。製品本体のみの被害（製品破損）に留まらず、周囲の製品や建物などにも被害を及ぼすことを「拡大被害」としている。

2. 主な事故事例

(1) 自転車 1

○2014年6月（北海道、重傷、使用期間約2か月）

事故内容：走行中、前ホークが破損し、前輪が外れ、転倒、負傷した。

事故原因：前輪のクイックリリースが正しく固定されておらず、走行中にクイックリリースがたるみ、カムレバーがブレーキ用ディスクローターに食い込み、前ホーク爪部が破損して前輪が外れ、事故に至ったものと推定される。

(2) 自転車 2

○2014年10月（北海道、軽傷、使用期間不明）

事故内容：走行中、サドルの固定部が破損し、転倒して軽傷を負った。

事故原因：当該シートポストやぐらは、サドルを固定するやぐらとシートポストが一体となった形状のもので、1本のボルトでサドルを固定しているが、シートポストやぐらの肉厚及び幅の寸法不足に加え、シートポストやぐら下面にボルト穴を通る切り欠きを設けていたことから応力集中を生じ、使用中の繰り返し負荷により切り欠き部分から亀裂が進展し、破損に至ったものと推定される。

3. 事故の実験映像について

事故の実験映像及び写真をご希望の場合は、下記の問い合わせ先までご連絡ください。

なお、映像をご使用の際、クレジットは「製品評価技術基盤機構+NITEのロゴ」としてください。

（本件に関する問い合わせ先）

〒060-0808 北海道札幌市北区北八条西2丁目

札幌第1合同庁舎 4階

独立行政法人製品評価技術基盤機構 北海道支所

担当者:大井、下川

電話:011-709-2324